

小野達也

Contents

- *静岡県議会報告
- *小野達也活動報告

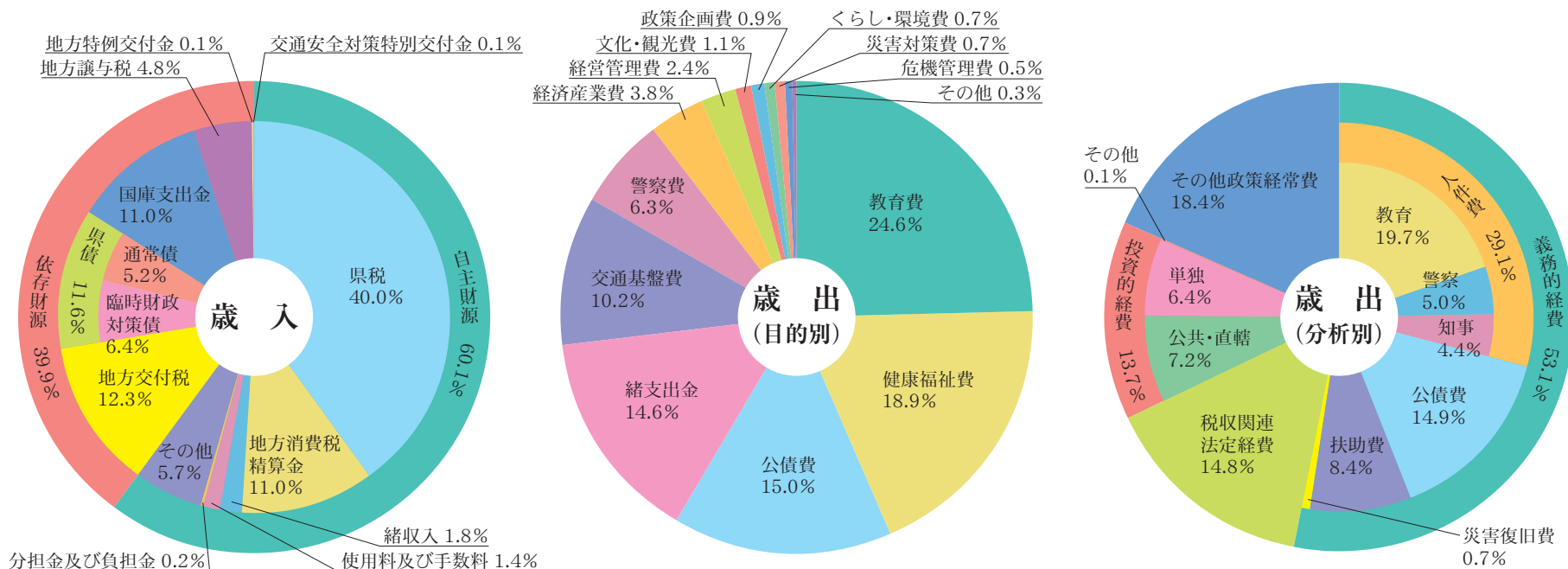


有言実行!!みんなとともに

発行：静岡県議会議員 小野達也事務所
 〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2
 TEL.0557-36-2089 FAX.0557-36-2080

平成28年度当初予算議決 一般会計額 1兆2,409億円

平成28年度当初予算は、国の地方財政対策により地方交付税等の一般財源総額が前年度と同水準で確保されたものの、高齢者医療などの社会保障関係費の増加が見込まれるなど、引き続き厳しい財政環境の下での編成となりました。



私が所属する会派自民改革会議は、当初予算編成について、総合的な要望項目として「**目に見える真の地方創生の実現**」を、また、個別の事項としては以下の「**7つの柱**」で要望をし、多くの反映がされました。

- 1 経済再生、雇用対策の強化**
産業競争力の強化/次世代産業創出への支援/積極的な企業誘致と企業の流出防止対策/地域企業の海外進出に係る支援/中小・小規模企業の支援/首都圏から本県へのU・Iターンの促進による人材確保/本県農林水産物の販売支援/農業の振興(TPPへの対応)/茶の生産、販路拡大への支援/耕作放棄地の抑制と再生の促進/林業の振興/鳥獣被害対策の強化/水産業の振興/女性、高齢者が力を発揮できる環境の整備/障害者の法定雇用率アップへの対応
- 2 危機管理体制の強化**
地震・津波対策施設の整備/建築物等の耐震化の推進/緊急輸送路の安全性の確保/防災対策基盤の整備/火山・原子力対策の強化
- 3 子育て支援、医療・福祉の充実**
保育所待機児童解消に向けた施策の強化/子どもの総合的な貧困対策の強化/医師・看護師確保対策の強化/質の高い医療・介護サービスの提供/障害者(児)への支援/ひきこもり対策/健康寿命延伸のための取組強化
- 4 教育・人づくりの充実**
学校教育の充実(義務教育・高等学校・特別支援)/次代を担う多彩な人材の育成/私学教育の振興/スポーツの振興
- 5 豊かな県民の暮らしの実現**
県民に身近な生活環境の整備
- 6 観光・交流の促進**
富士山、世界文化遺産の後世への継承/新しい人の流れをつくる移住・定住の促進/本県の魅力を活かした観光地づくり/富士山静岡空港の機能性の向上と利活用の促進/東京五輪・パラリンピック・ラグビーワールドカップに向けた戦略的な対策/自転車を含めた様々なスポーツ交流の推進/国際交流の推進
- 7 行財政改革の推進**
健全財政の枠組みの堅持/地域の自立に向けた取組

がんセンター放射線治療棟完成

県立静岡がんセンターの放射線治療棟が完成しました。最先端の技術と機械装置でがん撲滅に向けて治療を行います。また、乳幼児の治療についても全国で静岡がんセンターのみが対応可能になっています。

県議会2月定例会代表質問

2月26日県議会定例会にて会派自民改革会議を代表して登壇しました。28年当初予算をはじめ、県全体の多岐に渡る質問をしました。伊東市からも多くの方が傍聴に来ていただきました。

新保健福祉センター着工

現在、大原町に所在する社会福祉協議会などが活動する施設ですが、このたびの伊東市議会での建設が可決され、高齢者・子育て・障害者など福祉に係る拠点となります。完成予定は2016年12月です。

伊東市イトゥ市友好交流

スルガカップU-15サッカー大会に出場のため、伊東市との交流が進むブラジルイトゥ市から「イトゥアーノFC」が来日。伊東に滞在し、大会前のコンディショニングや地元クラブとの国際交流試合を行いました。

／東京五輪に向けたアクセス道路の整備/社会基盤整備の推進/安全・安心なエネルギーの供給/環境政策の推進/魅力ある文化の創出/安全・安心な暮らし対策

魅力を活かした観光地づくり/富士山静岡空港の機能性の向上と利活用の促進/東京五輪・パラリンピック・ラグビーワールドカップに向けた戦略的な対策/自転車を含めた様々なスポーツ交流の推進/国際交流の推進

健全財政の枠組みの堅持/地域の自立に向けた取組

県政報告会を開催しました

県政報告会を市内十カ所で開催し、各会とも多くの皆さまにお集まりいただき、様々なお話をさせていただきました。皆さまの声をしっかりと聞き、原点である地元伊東の課題に取り組んでまいります。



■湯川・松原地区 10月26日
区長をはじめとして多数の来賓の方、また地元選出市議の2人の他、複数の市議にもご参加いただきました。

地方創生、景観に配慮した現実的な防災対策、そして介護の問題について具体的な数字を交えてご説明いたしました。

ご参加の皆さんからもご意見とご要望を頂戴し、とても有意義な時間になりました。

■荻・十足地区 10月29日

荻・十足区長をはじめとして多数の来賓の方、また地元選出市議として青木市議に、そして佐山市議、榎本市議、中島市議にご参加いただきました。地元交通要望に対しては、

伊東大仁線の早期実現、荻・十足の道路要望に尽力する。エネルギー施策としては安定的に経費の節減をし、生活を守る方策について。そして観光施策としてはアンテナショップ等で都心に伊豆の宣伝拠点を常設していることなどお話しいたしました。

■吉田地区 11月7日

吉田地区の交通網整備に付いては既に完遂した部分を報告し、渋滞緩和を鑑み近年中に更なる発展を目指していること、また災害に強く国土強靱化にも資する伊豆縦貫道については、その櫛の歯道となる市道県道の充実を急務としている考えをお伝えしました。

なお伊東、伊豆の国市間は緊急輸送道路の指定を受け国の予算での施工が可能となります。

■川奈地区 11月12日
地元吉田地区の伊豆の瞳、一碧湖はジオサイトの一角をなします、その取り組みもお話させていただきました。

区長をはじめとして多数の方、また地元から宮崎市議、榎本市議がご参加、近隣に則した身近なお話がありました。

国の施策として予算が社会保障費へと移行している中、臨港や交通、身近な生活道路の渋滞緩和を県へ要望しております。

地震対策は既に進み、これからの景観に配慮した津波対策に於いて防潮堤では無く施設に予算を充てる。さらに、いるか浜等の施設の改修に尽力してまいります。



■池地区 11月13日

稲葉区長からは県道の第3工区の早期完成を強く要請され、用地の確保に力を合わせて実行していくことになりました。

川の整備と隧道の整備、農地基盤整備など抱えている「池」の課題をスピード感を持って進めてまいります。

また市議会議員も多数いらしていただきましたので市で進めることもしっかりと対応してまいります。

■宇佐美地区 11月14日

会派政調会長の活動のご報告として、夏に67回にわたり県内各地の要望調査を実施しましたこと、続けて秋は11月まで各団

体や市町からの200以上に上る政調会への要望書(内容は福祉から各産業、商業にわたります)を検討しております。

この秋の各地区祭典に於いて交通規制が強く厳密化されたことを受け、以前のような祭典催行が出来るよう尽力しておること、また、国政については今後、制度の変わる選挙やマイナンバー制度、地方創生についても随時お知らせすること等をお伝えしました。

■玖須美・新井・富士見地区 11月17日
区長、区議会議員の皆さま、地元選出の榎本市議、また佐山市議、中島市議、そして浜田体育協会長にもご参加いただきました。

すでに着手している魚市場内陸フロントエリアのことや、ソフト面でも充実を図る津波対策、交通施策、またマイナンバーなど新しい制度のお話もいたしました。

■富戸地区 11月18日
区長からは県への要望を中心であり、市に対しても今回ご参

加の宮崎市議会議長と長沢市議に寄せられました。

質疑応答では海岸の整備について「真っ白な砂」にいつ頃なるのか、などの質問にお答えしました。

富戸地区では特に県道の整備と国道との取り付け口に事業を集中させてまいります。

■八幡野・赤沢地区 11月20日
地域役職の方、稲葉市議、中島市議、篠原市議にご参加いただきました。

今までの課題についてご要望にそって事業を進めていくことを報告いたしました。

赤沢地区は急傾斜地崩落危険箇所など課題が残っていますので確実に前進させてまいります。

■岡・鎌田・泉地区 11月26日
区長はじめ、多くの市議の方にご参加いただきました。

また今回は耳の不自由な方も報告が届くよう手話通訳の方をお願いたしました。

区長からご質問をいただき、交通網の整備、施設の移転に伴う課題や拡充に付いてお答えさせていただきました。

皆さまの声を実現!! 小野がやります!

五輪会場アクセス道路整備事業



2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が開催される伊豆ペドロームへのアクセス道路の整備事業費として、7億1,000万円の予算がつけ事業化されました。

道路拡幅他の全体事業費は35億5,000万円(平成28~31年度)となります。

オレンジビーチ海岸整備事業調査



和歌山県白浜町まで「白い砂浜」についての調査に赴きました。しらら浜では国・県・地元が共に負担し、海外から白い砂を輸入して行った事業です。

伊東のオレンジビーチでもこの方法で「白い砂浜」が実現できるかどうか? 調査・研究を進めてまいります。

県政・伊東市に対する皆さまのご意見、ご要望をお聞かせください。

静岡県議会議員 小野達也 事務所

TEL.0557-36-2089

〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2 FAX.0557-36-2080

公式サイト www.ono-tatsuya.com/
E-mail ono-tatsuya@bird.ocn.ne.jp



小野達也

検索

